

父と私

私の名は 武子

おとろの名は 武子

だれも 武子とけいりする

父は 武子とけいりすると言つてくれた

母は 武子とけいりすると言つてくれた

当時 満洲の キンコウの カンコウ

キンコウと名をつけたとき

家に 大きな 金庫があり

武子が 金庫の 鍵を 持っていた

きいて いる

と 武子に 言つて いる

父は ひとり

父は ひとり 居て いる

秋の 空は

ふかゆく 秋の 空は

おとろは ひとり 居る

おとろは ひとり 居る

おとろは ひとり 居る

おとろは ひとり 居る

父にやさしく できるとい
環境 出た

うちをい と思っている

おもいだりた とこのむかし 天国へ行つて

しまつた

なにか おとろ と思つて きのこは 通じな

あの世に手紙が かけたら

テレウが 出たところ とおとろ と思つてい

出ちやん とおとろ てくれと おかどろ

2026
4/23